

データを活用した地域DX推進体制の構築・拡充

実施体制 (下線：代表機関)

クロスポイント・コンサルティング（株）

支援地域

和歌山県
有田市

伴走事業の概要

和歌山県では、県経済をけん引してきた鉄鋼、石油産業の製造品出荷額や労働人口が減少しており、社会状況の変化に柔軟に対応するための施策として地域DXの推進が不可欠である。石油精製業が撤退した有田市をモデルケースとし、**一次産業、商工業、観光業等の付加価値化**や**健康・医療・介護・福祉分野、防災等の様々な分野にも波及させる**地域DXの取組に対して伴走支援を実施する。有田市での取組を**体系化・メソッド化**し、**ノウハウを県に蓄積**し、和歌山県庁DX推進本部市町村DX推進部会を活用して、地域DX推進体制を拡充し、**県が地域DXのモデルを横展開**する。

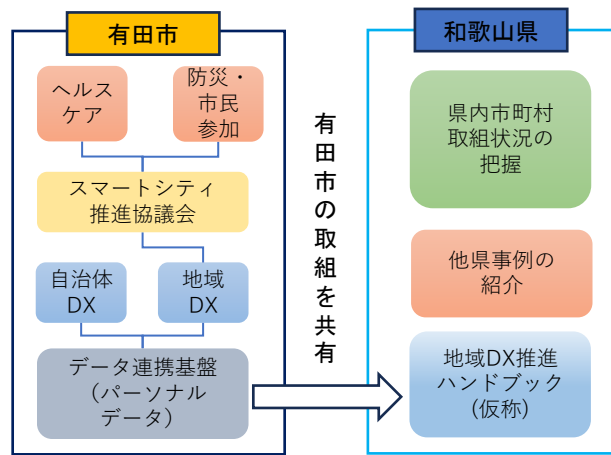
現状・課題

- ・ 県経済をけん引してきた鉄鋼、石油産業の製造品出荷額や労働人口が減少しており、社会状況の変化に柔軟に対応するための施策として地域DXの推進が不可欠。
- ・ 県・市町村連携による自治体DXの取組が始まったばかりで、地域DXに本格的に取り組めていない。
- ・ 地域DXの推進にあたり、人口規模、財政規模、所掌事務等の市町村ごとに異なる状況を踏まえた、きめ細かな施策の推進が必要。

	有田市	和歌山県
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少加速 ・ 主要産業縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内経済縮小 ・ 人口減少加速
地域DXのビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなアプローチとしてスマートシティ推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会変化への対応として地域DX推進
地域DX推進に向けた具体的な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有田市スマートシティ推進協議会の運営ノウハウ不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村に応じた支援ノウハウ不足
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的な運営が可能なビジネスモデル確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域のユースケース不足

対応

- ・ 導入済のデータ連携基盤や民間主導により設立した有田市の「スマートシティ協議会」を核とした、地域DXの取組を伴走支援。
- ・ 本協議会を活用し、新しいサービス・ビジネスを創出するためワーキンググループを立ち上げ、多分野を対象に、市の財政に依存しない自走による地域DXのモデル創出を支援。
- ・ **和歌山県**において、有田市の**先行取組を体系化・メソッド化した地域DX推進ハンドブック(仮称)**等のアセットを県に蓄積し、県内市町村への横展開に向けた助言などの支援に活用。



実現する社会像

- ・ 自治体DXの取組を**地域DXに拡張・発展**させ**県が地域DXをけん引する体制の基盤**とする。
- ・ 有田市の**地域DXモデル**を県内に波及させ、県が今後予定している『データ連携基盤共同利用ビジョン（仮称）』の策定においても参照する。
- ・ 中長期的には県と市町村が役割分担・協力しながら、**持続可能な地域DXの推進**を目指す。

